



2歳新馬戦



8/11 重4R		900m									
7	0	エムザックサン	439 55 吉原寛	563 1	(1)(1)	37.0					
4	▲	ウィンザカップ	423 54 吉田晃	4	572 2	(3)(3)	37.1				
9	0	レオパルト	459 55 畑中信	1	574 3	(2)(2)	38.1				
2	▲	フミツナヒゲ	467 53 中島龍	7	588 4	(5)(5)	38.1				
1	▲	ハッピーリン	405 54 池田敦	8	1005 5	(6)(6)	39.2				
6		クリムゾンフレ	398 54 松戸政	クビ	1006 6	(7)(7)	38.2				
3	▲	アヤノチェリー	419 54 鈴木太	11/2	1009 7	(4)(4)	40.8				
5		ロックザハート	54 田知弘	疾病のため			競走除外				
8	▲	アガティアラ	54 桑野等	熟発食不振			出走取消				
ハロン		12.51	前半	19.3	上がり	47.9	37.0	平均ペース			
枠連複		-		円	枠連単		-		円		
馬連複		4-7		370	円	馬連単		7-4		410	円
3連複		4(7)9		210	円	3連単		7(4)9		630	円
向正		7,9-4,3-2-1,6			稍出遅れ		1(1)2				
3角		7,9-4,3-2-1,6			逸走		6				
4角		7,9-4-3,2,1,6									



今季4度目ともなるとレベルの高い牡馬も目立ち始める。⑦エムザックサンダー、⑨レオパルト、2頭の牡馬の前評判が高い。勿論、今季最高のレベル。台風の影響で一日順延となった11日、スムーズなゲート入りから飛び出したのは人気の⑦エムザックサンダーと⑨レオパルト。すぐにこの2頭が併走の格好で後続を引き離す。まさにマッチレースの様相。その形が崩れたのは3角過ぎ。外に併走していた⑨レオパルトの脚色が鈍る。直線に入ると逃げた⑦エムザックサンダーが引き離す。この時点で⑦エムザックサンダーの勝利は確定的に。ゴール前では離れ3番手にいた④ウィンザカップが⑨レオパルトを交わし2着浮上した。ハイレベルの1戦をハイレベルの走りで勝ち上がった⑦エムザックサンダーは強い一言。2、3着馬も含め秋以降はこの連中が熾烈な争いを繰り広げる予感がした。